

第2号様式（第3関係）

令和6年度第3回豊山町子ども・子育て会議議事録

- 1 開催日時 令和6年12月25日（水）午後2時30分～午後4時
- 2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1
- 3 出席者
 - (1) 委員 10名
堀田裕子、野崎千佳、松永千鶴
坪井貞子、竹内智恵子、戸田灯某
(水野美穂委員、伊藤章代委員、竹本公子委員、青山千夏委員は欠席)
 - (2) 事務局
生活福祉部 部長 井上武
生活福祉部 子ども応援課 課長 加藤義紀
生活福祉部 子ども応援課 子ども応援グループ グループ長 八幡竜太郎
生活福祉部 子ども応援課 子ども応援グループ 主任 南大樹
 - (3) コンサル業者
Next-i 株式会社 安村眞也
- 4 議題
 - (1) 計画案について
 - (2) パブリックコメントの実施について
- 5 会議資料
豊山町こども計画案（資料1）

6 議事内容

<p>司 会</p>	<p>定刻前ではありますが、皆様お揃いになりましたので、ただいまより第3回豊山町子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>本日、4名の委員から欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>本日の会議録につきまして、町のホームページに掲載することにしておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>本日は、皆様のお手元の資料に基づいて会議を進めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>次に本会議の成立につきまして、ご報告いたします。本日の出席委員数は、10名中6名でございます。半数以上の出席がありますので、豊山町子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。</p> <p>なお、豊山町こども計画の策定について業務委託をしておりますNext-i株式会社に同席をさせていただきますのでご了承ください。</p> <p>それでは、ここからの議事進行につきましては、会長にお願ひします。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、お手元に配布された次第に沿ひまして、進行させていただきます。</p> <p>それでは、議題（1）計画案について、事務局より説明をお願ひいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">資料1に沿って説明</p>
<p>会 長</p>	<p>ただいまご説明をいただきました。</p> <p>多岐にわたる説明でしたので、区切つてご意見やご質問をいただいた方が良いかと思ひます。</p> <p>基本的には、私たちがずっと言つていたボール遊びができる場所等も内容に盛り込まれた施策もできているのではと思ひます。</p> <p>まずは第1章から第3章までのところでお願ひします。</p> <p>第2章や第3章は私たちが既に確認済みのところですのであまりないかと思ひますが、何かご意見等ありましたらお願ひします。</p>
<p>A委員</p>	<p>3ページの計画期間について、令和7年からこども計画が5年間とありますが、愛知県のあいちはぐみんプランや、豊山町の教育大綱等、他の計画との関係性で、内容を反映させなければならないところも出てくるかと思ひます。その辺りに関連して、次のプランの策定のタイミングは決まつているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育委員会のものについてはすぐにお答えできないのですが、県の方で新たに作られるはぐみんプランにつきましては、本町のこども計画と同様に、令和7年度から令和11年度までの5年間の計画となっておりますので、県に沿つた形で進めていく形になります。</p>
<p>A委員</p>	<p>レインボープランの方は分からないでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今は分かりません。</p>

B委員	<p>54 ページで、数値目標の設定をしていますが、豊山町の現状値に対し、目標値はこのぐらいが妥当の数字なのか。例えば、近隣の市町村でこれくらい数値が高いところがあるからなど、何か理由があつての設定なのか。</p> <p>また、豊山町では、大人になっても住み続けたいかに対しては半数以下の数値で、すごく低いなと感覚的には思う。分母が違うので近隣市町と比べるのは難しいかもしれませんが、どのくらいの数値が一般的なのかと素朴に疑問に思いました。もし分かる数値があれば、教えてください。</p>
事務局	<p>今回、国が示したこども大綱を参考に数値目標についての数字を出しました。</p> <p>子育てが楽しい、子育てへの満足度、こどもまんなか社会に向かっている、といった項目については、こども大綱で、この数字を 11 年度の目標値として掲げているものでしたので、本町としても参考にさせていただきました。それ以外の項目については、町独自の目標値となっています。現状値を基に、ここまでいきたいという、担当の判断のもとで 80%としています。</p> <p>特に、「住み続けたい」の 80%はかなり高い数字ではあるかもしれませんが、今回初めてこども計画を策定し、先ほど担当から説明させていただいた、色々な施策を進めていくことで、町民の方々がこのように思っただけなのではないかという期待も込めさせていただきました。</p> <p>あまり低い数字を目標値に掲げても、良くないというところもあり、達成できるかできないかは別にして、ここまでいきたいという担当の考えを基にして、この数字にさせていただいています。</p>
B委員	豊山町では、こども達が育って大きくなったら出て行ってしまふようなイメージがあるのですが、他の市町村も同じような状態なのでしょうか。
C委員	こどもはずっと住みたいとは思っていないのではないのでしょうか。
B委員	そこまで感覚的に持たないものですかね。
C委員	例えば沖縄の人は、沖縄から出たいという人が多いけども、帰ってくる人も多い。出たいという気持ちにはきつとなります。
B委員	一回出てみたいというような考えでしょうか。
C委員	こどもにずっと住み続けたいかと聞いて、ずっと住み続けたいというのも、逆に夢がないのかなと思います。
A委員	国のこども大綱の目標値は、国が実施した調査に基づいているのでしょうか。
事務局	恐らくそうだと思います。
A委員	<p>例えば、国が定めた 70%という目標値は、国がどういう範囲で調査をしたかは分かりませんが、都心部に行くともしかしたら現状値がもう少し高いのかなと。</p> <p>国が実施したものとどれくらいの乖離があり、それをそのまま計画に反映させた時に大きく広がってしまっているのではないかという印象が、今の委員のご指摘の中には含まれていますよね。</p> <p>この 7.7%が 70%になるということは、すごい目標値だと見えてしまい</p>

	ます。
事務局	<p>まさしく、こども大綱が掲げている数値目標の中にも、今おっしゃられました「こどもまんなか社会の実現に向かっていると思う人の割合」というところがありまして、これが70%と国が目標を立てています。</p> <p>意識調査の結果としては、現状として15.7%で、それを国の方は70%の目標を掲げてやっていたところがありましたので、我々もこれに沿って70%にさせていただいたところです。</p>
A委員	<p>もしかしたら、この目標値がやはりパッと見た時に無理があるのではないかと皆さんも思われたかと思います。</p> <p>そのような算出のされ方をしているのであれば、何かどこかに「このようにして算出した」、「国のこども大綱の目標値を参考にした」ということを書かれた方が良いのではと思いました。</p>
事務局	そこは追加させていただきます。
B委員	全国平均の値があるということでしょうか。
事務局	全国の結果かと思います。
B委員	それも載っていると、豊山町が高いのか低いのか分かります。
事務局	先ほど申しあげましたように、こども大綱に沿ったものと町独自のものがありますので、沿ったものについては入れるようにします。
A委員	以前の会議の際に、51ページに書いてある基本理念で、「こども・若者が幸せに・・・」とあり、「若者」のところに保護者も含まれるというような話があって、混乱といいますか「若者とは」という話が出た記憶があるのですが。
事務局	以前の説明に無理があったのかどうかわかりませんが、いずれ若者もこどもを育てる年齢になり、いずれその人たちが子育て世帯になっていくというような意味合いを込めて、いわゆる輪廻転生ではないですが、こどもたちもいずれ大人になる、またその大人になった子がまたこどもを作るというようなことで、上手く回っていくというような意味合いを込めて説明させていただきました。
A委員	<p>ご説明いただき、前回よりもしっくりきました。</p> <p>恐らく少しニュアンスが変わったのかなといいますか、「若者」というのは我々が思っている「若者」で良いと思いながらお聞きしていました。</p> <p>今現在こどもを育てている人たちということではなく、将来の子育て世帯ということで、わかりました。</p>
会 長	<p>それでは、第4章の方に移りたいと思います。</p> <p>何かお気づきになったことやご質問等ありましたらお願いします。</p>
C委員	<p>60ページに「母子支援教室」がありますが、その下に「男性」というのも別にあるので、男性はこっち、女性はこっちに行くのかなという印象なのですが、これは「母子支援教室」ではなく「親子支援教室」にした方が良いのではと思います。</p> <p>育児休暇を取ってすぐに参加したいと思っている男性が、参加できない雰囲気があるのは良くない気がする。「親子支援教室」にした方が良いの</p>

	か、母親だけで来た人ももちろん参加できるし、父親だけでも参加できる、というような形の方が良いかと思えます。
事務局	ここは一度保健センターに確認したうえで、修正できるものであれば修正します。
C委員	もう一つ、64ページの「こども誰でも通園制度」について、これは保育園に空きがあると、普段から毎日通わせるということなのか、仕事をこれだけやっていないと通えないということを撤廃して、行きたい人は保育園にいつでも行くことができるというものなののでしょうか。一時保育とはまた違うのでしょうか。
事務局	今のところ国が示しているのは、保育所等の福祉施設を利用されていない0歳6か月から2歳までの方を、月10時間まで利用できるとされています。自治体によってその時間を伸ばしています。 そのため、仕事をされていなくても手続きさえすれば、月10時間は利用できますということになるかと思えます。一時保育と同じように通園制度も日にち、時間の制限を設けるかとは思いますが、中には親子で保育園を利用できるようになると国が示しております。一時保育はこどもを預けたら親は帰るということになりますので、その辺りも変わってくるのだらうと思っています。 計画内で実施しますと記載していますが、国は令和8年度から全国的に必ず実施としていますので、来年1年間かけて、町立保育園のどこで受け入れをするのか、1日に何人受け入れできるのかも含め、1年間かけて制度設計をして、令和8年度から実際にやっていくという計画です。
C委員	すごく良い制度だと思います。 親はこどもが遊んでいるところを実際に見た方が、自分の子がどうなのかということがよく分かるので、良い制度だなと思えます。 66ページの「3歳から5歳児までの副食費無償化」について、今、給食費が話題になっていますが、小中学生の給食費は特に新たな動きはないということでしょうか。
事務局	国は少し動きがあったようですが、豊山町に関しましては今のところ教育委員会の方からはそういう話は出ておらず、この計画に載せることは難しいということがありましたので、色々ご議論がありましたが、計画には入れていないというところです。
A委員	今委員がお尋ねされた64ページの「こども誰でも通園制度」について、「通園」という言葉が、「通う」ということで定期的に行くのかなと思ったので、どういう仕組みになっているのかなと思ったのですが、「通園」という言葉で良いのでしょうか。
事務局	一応、国が示している事業名がこれになっています。
A委員	67ページの「(5) 教育・保育施設の在り方の検討」について、ここで言っている「在り方」というのは、具体的にどういうことを指しているのか。 要するに、老朽化を踏まえたうえでということは、保育所の建て替え等

	<p>の箱的な意味での在り方の話をされているのか、それとも運営を例えば指定事業者任せるといふようなことを含めて在り方を検討されているのか、もう少し詳しく教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>おっしゃられた通り、二つの柱があります。</p> <p>一つは老朽化している施設について、恐らく建て替えをしなければこの先運営ができないだろうと思っています。ただ、町がこの施設を新たに建て替えようと思うと、全て町の負担で施設を確保しなければならないということになります。</p> <p>それを回避する狙いもありますが、民間に委託し、民間が建て替えると国や県の方から補助が出るということもあります。町のその時の財政的なことも大きく影響してくると思いますが、そういうことも踏まえ、まずは建て替えを町がやるべきなのか、あるいは民間等に任せてお願いしていくのか。あとは3園本当に必要になってくるのかということも含め、今後5年のうちに方向性を見出していききたいという強い思いがあり、今回この計画に載せさせていただいています。</p>
会 長	<p>他に何かご意見、ご質問はありますか。</p>
C委員	<p>こどもの居場所をせっかく作るのなら、他にないようなものを作ると良いと思う。例えば、スケートボードなどを作って町外の人がここへ行きたいと思うような、町外の人がお金を落としに来るといいますか、魅力的なものを作ると、より経済的にも良いし、近くに住もうという人もいるかもしれないので、そういった良いものが作れたら素晴らしいかと思います。</p>
A委員	<p>62 ページの新規の事業ということで「校内教育支援センター事業」の話をいただきましたが、これは教室以外の場所で環境整備して支援するということは、誰かがそこで指導をするということなののでしょうか。</p> <p>仕組みを教えてください。</p>
事務局	<p>学校の中にある空き教室に、なかなか集団で授業を受けられないお子さんがみえると、そういう方々が何とか学校に来て、学校で過ごせるスペースを設けられているようで、その中には当然、先生も配置されて対応されているという話を聞いております。</p>
A委員	<p>学校終わりではなく、学校の授業時間中のことなのですね。</p> <p>分かりました、ありがとうございます。</p>
会 長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは、第5章、第6章に移ります。</p> <p>何かお気づきになられた点等ありましたらお願いします。</p>
C委員	<p>84 ページの利用者支援事業について、どういう人を対象にしているのかよく分からず、量の見込みが2で確保が1で、母子保健型と基本型と誰に対する何のことなのか全然分からないので、教えてください。</p>
事務局	<p>まずこの数字は箇所数になりますので、基本型の支援事業をやる場所が一つあり、母子保健型・こども家庭センター型の対応をする場所が一つある、と思っていただければ結構です。</p> <p>基本的には、いわゆる相談窓口になります。こども家庭センター型につ</p>

	<p>いては、保健センターの様々な健診や、教室を行う中で、相談が必要な方が出てくるので、そういった方々は保健センターの相談体制で支援していくという、いわゆる保健センターがこれにあたります。</p> <p>基本型の方は、子ども応援課で対応しているのですが、こちらはどちらかというとな一般的になってしまっていますが、保健センター外のお子さんの相談支援をしていくのがこの基本型ということになります。</p>
C委員	相談センターというようなことでしょうか。
事務局	そのように思っただけだと思います。
A委員	<p>参考までに教えていただきたいのですが、79 ページの図表5-8-1の1号認定、2号認定の実績で、見込みよりも実績値が他のものに比べてかなり上回っているようなのですが、これは何が原因だったのでしょうか。他の事業は量の見込み通りといいますか、ほぼ同じくらいの数字かと思われるのですが、ここが目立つといいますか。</p>
事務局	<p>これが正しいのかどうか分からないのですが、今、私立幼稚園が町内に1つございます。</p> <p>恐らく、その当時の計画値、量の見込みとしましては、その幼稚園を利用するお子さんの人数を見ていたのではと思っています。</p> <p>しかし、実際にはその幼稚園以外にも、近隣の、北名古屋市や名古屋市の幼稚園を利用されているご家庭もみえますので、それが実績値として量の見込みよりもオーバーした形になったのではと思っています。</p> <p>今回からは、そういう実態があるということも把握したうえで、量の見込みと確保方策を組んでいますので、そこまで相違は出てこないのではと思っています。</p>
C委員	要するに、この実績値というのは、豊山町内の幼稚園ではないところも含めた幼稚園へ行ったこども、ということでしょうか。
事務局	<p>そういうことです。</p> <p>そういう時は必ず町で1号認定という認定をすることになりますので、それで「このお子さんはどこの幼稚園に通っている」ということを把握できます。</p>
D委員	<p>99 ページの「一体型の放課後児童クラブと放課後子ども教室の実施」について、今後の方向性に「一体化する」とあり、先日 YouTube で豊山町議会を見た際にも、一体化を進めているという話が出ていたのですが、具体的に何年に向けてこの一体化を進めているのか、また、一体化する分かりやすい理由をお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>まず、一体化を進めていくきっかけになったのが、国から放課後子ども教室と、豊山町で言うとなかよし会を一体的に事業展開していく方針が示されたためです。それに基づいて町でもそうしていきたいと考えています。</p> <p>もう一つは今、3小学校のうち志水小学校は学校の敷地内に建物を立てて、そこで一体的にやっています、残りの豊山小学校と新栄小学校については、放課後子ども教室は小学校で、なかよし会はさざんかやしいの木の</p>

	<p>施設でやっております。</p> <p>そうしますと、学校の授業が終わりましたらそれぞれの施設に子どもたちが集団で移動しなければならないということがあり、今までは事故等はなかったですが集団移動に伴う、そのような危険性があるということもあり、できれば学校の授業が終わったら、学校の施設内で完結させたいというところで、なかよし会も小学校の中で運営をしていきたいと思っています。</p> <p>一体型ということで一つにまとめるわけではなく、それぞれ部屋は違うのですが同じ校舎の中で行き来できるような仕組みにしていきたいと思っています。</p> <p>これまでは豊山小学校と新栄小学校については、余裕教室がなかったという実態があります。</p> <p>一体化を進めていきたいという子ども応援課の方から、学校側に余裕教室がないかという話をしていた中で、余裕教室が確保できそうだという目処がついたため、まずは2つのうちの豊山小学校の余裕教室をお借りして、そこになかよし会の場所を移動させたいと思っています。</p>
D委員	<p>今、放課後子ども教室が終わったら、なかよし会にそこから10名程度を16:30に送っていると聞いています。それを無くして、全体を豊山小学校拠点にするということでしょうか。</p>
事務局	<p>今、放課後子ども教室は別館の1階だったかと思います。</p> <p>以前、校長先生とお話をさせていただいた時に、その上の同じ別館の2階にお借りできそうな部屋があるとおっしゃっていただいたので、それだったら行き来する際のこどもの危険もなくなるので、その部屋を貸していただいて、なかよし会をそこでやれないか、できる限り早く進めていけたらと思っています。</p> <p>あとはこの5年間のうちで新栄小学校でも、余裕教室ができた際は同じように進めて、最後は3小学校全てで一体的にできるような仕組みにしていきたいと思っています。</p>
D委員	<p>分かりました。</p> <p>豊山小学校の方を拠点にするということでしょうか。</p>
事務局	<p>拠点といいますか、それぞれの小学校です。</p>
D委員	<p>今の学童保育があるところではなく。</p> <p>今、さざんかになかよし会がありますが、なかよし会も豊山小学校の方でやるということでしょうか。</p>
事務局	<p>新栄小学校に通っていらっしゃるお子さんは新栄小学校の中で、豊山小学校に通って見えるお子さんは今、しいの木に通っていらっしゃいますが、なかよし会は豊山小学校の中でやれたらと考えています。</p> <p>ですので、恐らく豊山小学校ができたとしても、新栄小学校の方は引き続き小学校で子ども教室を、さざんかでなかよし会の運営を当分の間はしなければならぬと思っています。</p>
D委員	<p>すぐ無くなるわけではないのでしょうか。</p>

事務局	無くなるわけではありません。
E委員	<p>93 ページに、前回も話があったかと思いますが、一時預かり事業について、計画値と実績値が片方は4桁、もう片方は3桁くらい計画値と実績値が離れています。</p> <p>ここに関して課題がこうあるというのは書いてある通りなのですが、これをどのように解決するかということは、町としてはどう考えられていますか。「支援を推進します」としか書かれていないので。</p>
事務局	<p>93 ページの真ん中の図の、数字が4桁になっているところにつきましては、同じ一時預かり事業の中でもそれぞれ通っている幼稚園、ここでいうと天使幼稚園に通われている方、あとは豊山町立の保育所以外の保育所に通ってみえる方については、その中で一時預かりをしてもらっています。それが、この量の見込みと実績値と、実際に乖離があるということです。</p> <p>もう一つの「幼稚園型を除く」というところは、まさしく町立保育園でやっている一時保育のことになります。</p> <p>こちらについても計画値と実績値との乖離がありましたが、一応、それぞれ実績値よりも量の見込みとしては確保されているので、今のところこれ以上の確保方策を考える必要はないと思っています。</p> <p>出生数は恐らく、よくて現状維持だと思いますので、これ以上大きな数字になるということは量の見込みに関しては無いと思っていますので、今の段階ではこのままでという見込みです。</p>
E委員	枠がこれだけあるという提示ということなのですね。
事務局	そういうことです。
会 長	他に何かありますでしょうか。
	それでは、議題（1）に関してはここまでとし、続いて議題（2）パブリックコメントの実施について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	パブリックコメントの予定について説明
会 長	<p>ただいまご説明をいただきました。</p> <p>委員の皆様からご意見、ご質問があればいただければと思います。</p>
B委員	パブリックコメントの実施の情報はLINEでは流さないのでしょうか。また、K i k o t t oを使うとかもあると思います。
事務局	<p>やっていますという情報提供は恐らくできると思います。</p> <p>パブリックコメントを実施するにあたって、一つはこの冊子を窓口そのまま紙ベースで子ども応援課に置いて、見ていただきながら質疑があれば様式に書いていただいて提出していただくパターンと、もう一つは町のホームページにパブリックコメントを始めましたということでデータをアップして、ホームページ上で見ていただいて、何か質疑があればメールを送っていただくというパターンになりますので、K i k o t t oでもしやるとしたら、パブリックコメントをやっているのだから窓口かホームページをご覧くださいというご案内ができると思います。</p>

B委員	<p>やはり広報を見る方も少ないと思うので、何かしらの情報提供はしていただければと思います。</p> <p>窓口でも、お子さんを連れてきても過ごせる場所がある等、その辺りを言っただけだと良いと思います。</p>
事務局	考えてみます。
B委員	せつかくなので、子育て世帯の人に答えていただけるのが一番良いのではと思います。
会 長	<p>他にパブリックコメントに関してご意見、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議題については以上となります。</p> <p>進行を事務局にお返しします。</p>
司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは最後に、その他について、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
委 員	(特になし)
司 会	<p>では、事務局の方から今後のスケジュールを説明させていただきます。</p> <p>今後のスケジュールにつきましては、先ほどご説明させていただきましたように、1月から2月にかけてパブリックコメントを募集します。</p> <p>その後、2月に子ども・子育て会議の開催を開催し、その後答申の予定です。</p> <p>それでは、以上を持ちまして令和6年度第3回豊山町子ども・子育て会議を終了させていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>